

第 1 号議案

令和 4 年度事業報告

令和 4 年度は、昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染が続いており、当県内でも第 8 派の猛威時には、「感染拡大警報」が発令されていたところです。

5 月からは、第 2 類から第 5 類に移行されますが、引き続きのマスク着用や手洗い、換気などの感染対策をさらに継続をしていく必要もあります。

また、ロシアのウクライナ侵攻に端を発し、エネルギー、原材料の高騰、物価高、円安の進行などにより経済状況に与えた影響が深刻になっています。

このような中でありますが、自動車業界においては世界的な半導体不足や部品調達難が少し和らいだものの、引き続き新車の納車遅れも発生しているところです。

令和 4 年度の国内新車販売台数は前年度比 4. 0% 増の約 438 万台、普通車は 1. 2% 増の約 269 万台、軽自動車は 8. 9% 増の約 169 万台であったが、コロナ禍前の水準には戻っておらず、年度ベースでは過去 3 番目の低水準となりました。

福井県下の新車販売台数は、普通車が前年度比 1. 7% 増の 20, 537 台、軽自動車は前年度比 9. 5% 増の 15, 595 台でありました。

このような状況の中ですが、来春にはいよいよ北陸新幹線が敦賀までの開業を迎え、開業に向けて様々なプロジェクトも進行中であります。

道路においては、冠山峠道路の開通予定が令和 5 年内、中部縦貫自動車道の油坂峠までの全線開通予定が令和 8 年春となっており、広域観光の活性化及び物流の効率化が見込まれます。

令和 4 年の福井県内の交通事故死者は、前年から 1 人増の 27 人で残念な結果であり、また、高齢者が当事者、犠牲となる事故も多く発生している状況も踏まえて、引き続き事故防止対策に努めていく必要があります。

当自動車会議所においては、自動車関係業界の発展に少しでも寄与できるよう以下の主な事業に積極的に取り組んでまいりました。

記

1. 関係行政機関・会員団体等との連絡協調

中部運輸局福井運輸支局、福井県、日本自動車会議所、全国自動車検査登録印紙売捌人協議会、福井県経済団体連合会、福井県道路協会、福井県高速道路交通安全協議会、福井県交通安全協会、福井県バス協会、福井県トラック協会などが主催する総会、理事会、各種会議・行事等に積極的参加し、また連絡を密にしてそれぞれの機関・団体等からの情報を自動車関係団体等への周知に務めました。

2. 自動車の検査・登録に対する協力

各窓口において、日頃の業務対応の中で利用者の皆様からの要望・質問等に対しても、回答出来る範囲においてお答えしつつ、然るべき窓口への案内を行っているところであります。

また、「車検証の電子化」に伴う手数料改定においても、窓口へ抜粋版の掲示なども実施しながら周知にも務めてきました。

エコカー減税への対応、税制改正等に伴う環境性能割の税率変更などにも積極的に対応しております。

3. 自動車検査登録印紙など各種印紙の売捌き事業

自動車検査登録印紙・自動車審査証紙・自動車重量税印紙・県税証紙等の売捌においては、少なくなりつつあるとはいえ、今季約42億円と非常に多額の印紙を扱っていることから、事故やトラブルのないよう、また利用者サービスの向上に努めて業務を遂行してまいりました。

令和4年度の主な印紙4種の手数料収入は、前年度比0.8%減の約3,090万円ではほぼ前年度並みとなっています。ただ、一昨年度と比較すると約130万円以上の減収となっており、今後も推移をしっかりと見ていく必要もあります。

この要因は、コロナ禍での新車販売の低迷、納車遅れ、税制改正による税率変更、OSS申請利用の増による影響と考えています。

特に、OSS申請の利用率が60%を超えてきており、車検証の電子化の影響も考慮しなければならず、売捌事業は極めて厳しくなっていくものと憂慮しているところです。

しかし、厳しさを増す環境のなかでも、自動車の登録・検査等に係わる方々の利便性を向上させていくために何が出来るかを常に考えて努力していくことが重要であります。

4. 自動車税申告審査等業務

福井県から業務委託を受けております自動車税申告書審査業務については、情報管理の徹底など行政業務の基本である適正かつ公正な執行や、納税者の立場にたって良質なサービスの提供を重点に掲げて申告書審査及び相談業務を行っております。

また、一昨年4月から、福井県税事務所分室業務を全面的に受託しており、これに対応するため人員含めた体制強化、窓口サービス向上を図りながら業務を遂行しています。

今後においても、福井運輸支局、福井県とも連携しながら体制整備の充実を図り、窓口サービスに混乱のないよう取り組んでまいります。

5. 交通事故防止等広報活動の推進

車社会の急速な進展と、これに伴う経済及び地域社会の変化に対応するため、自動車に関する諸情勢の早期把握に努める一方、会員団体及び関係先との緊密な連携を保持し、各種情報の収集及び伝達に努めました。

コロナ禍の関係もあり、各種会議はオンライン中心、書面開催・協議となったものもありましたが、11月には交通安全県民大会に出席しました。

高齢者が関係する事故も増えてきている現状も踏まえ、事故防止のため関係機関等とも連携を強化していく必要があります。

6. 自動車会館の管理運営

福井県自動車会館は、昭和54年5月竣工以来43年が経過し、老朽化に伴う修繕箇所が年々増加していることもあり、自動車会館建設等委員会を設置し、会館の老朽化に伴う対策を継続的に協議してきたところです。

昨年度は4回同委員会を開催し、リノベーションの範囲、施工業者の選定手法などを協議するなどの取り組みを進めてきました。

今後においても、改修等工事の実施に向けて関係団体とも調整を図りながら進めて行くこととしています。

そのため、会館内の所属団体専務理事による専門部会も毎月開催し、その中で今後の方針・具体策などを詰めてきたところです。

しかし、各団体等の諸事情・財政事情等も考慮しなければならず、課題も山積しており、今後も協議を継続して進めていくことが重要です。

7. 専門部会等の開催

福井運輸支局をはじめ関係行政機関や、各団体相互の情報交換・連絡調整等を図るため、毎月専務会議を開催し、同時に会館専門部会の中で、会館の維持管理、改修に向けた協議などを進めてきました。

また、中部運輸局、福井運輸支局幹部職員の異動に際しては、懇談会も随時開催したところです。

なお、道路に関しては「道路管理者（国・県）と自動車業界との懇談会」を開催し、福井河川国道事務所及び福井県土木部に参加して頂き、道路整備等に関する懇談をするとともに、要望書も提出をしたところです。

8. 自動車関係功労者福井県知事表彰

福井県はいわゆるクルマ社会であり、通勤・レジャー・企業活動など何をするにおいても県民にとっては自動車が貴重な移動手段であり必需品であります。

また、様々な分野において県民の生活の維持、企業の経済活動の推進、観光需要の喚起などにも自動車業界は大きく貢献しており、またなくてはならない存在でもあり、昨年度に「福井県自動車関係功労者知事表彰」を創設して頂きました。

昨年6月の当自動車会議所通常総会の席上において、第1回表彰式が行われ、表彰の栄誉を受けたのは、下記9名の皆様であります。（敬称略）

福井県自動車販売店協会会長 浮田啓三、（公社）福井県バス協会前会長 天谷幸弘、福井県車体整備業協同組合理事長 濱埜治夫、（一社）福井県自家用自動車協会会長 岩佐晴雄、軽自動車協会会長 松井誠、（一社）トラック協会会長 清水則明、福井県中古自動車販売協会副会長 山下敬一、（一社）福井県タクシー協会副会長 長谷川義二、（一社）福井県自動車整備振興会副会長 貝谷信雄

9. その他（窓口サービスの向上等）

当会議所の窓口対応にあたっては、さわやかでていねいな対応、笑顔を忘れずに、公正な窓口業務の推進に務めながら業務にあたっておりますが、特に窓口においてはその時代に合った高い接客サービスが求められています。

また、顔なじみによる慣れや、繁忙期などにおいても利用者の皆様に不愉快な対応とならないように、職員相互のチェック体制を保ち、また月に一回定例会を開催し、事業運営の改善、効率化を図るための検討も行ってきたところです。